平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体

平成20年7月30日(水)　　二回戦

Dコート　第4試合　　県立深谷第一高校

チームA				チームB
県立新潟商業 新　潟	100	26 － 26 25 － 16 33 － 17 16 － 25 －	84	東海大学付属第四 北海道

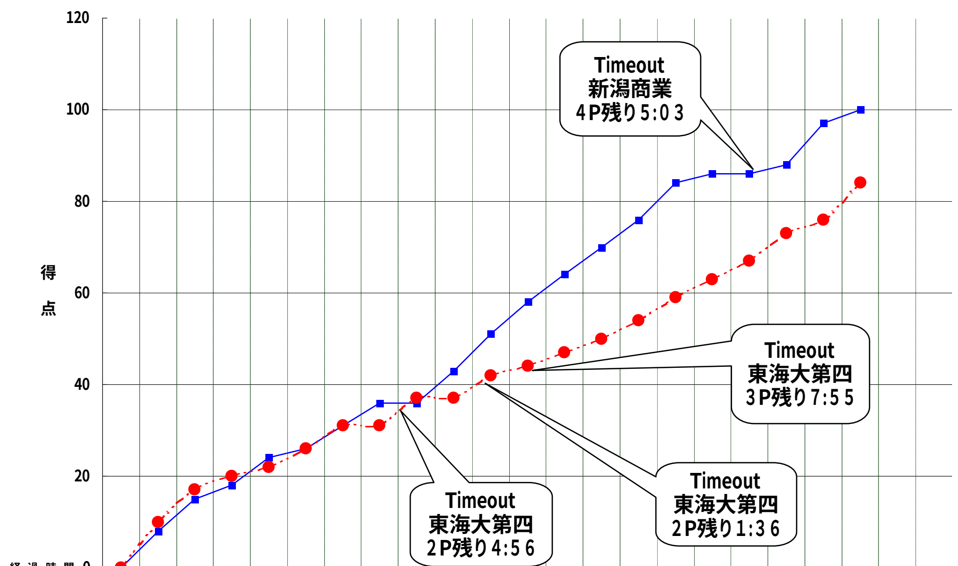
県立新潟商業

番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	槙　坂　　健　人	X	17	3	7	3	7	2	3	3	0	5	4	3	4	0	35
5	近　　藤　　　大	X	22	2	2	6	9	4	5	4	1	4	2	2	5	0	18
6	山　崎　　将　也	X	26	2	6	10	14	0	2	1	4	5	1	2	2	0	39
7	五十嵐　良　心	／	3	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7
8	佐　藤　　圭　汰	／	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
9	小野寺　弘　晃	X	3	0	0	0	3	3	4	2	0	3	1	1	2	0	22
10	田　　村　　　亮	／	6	0	0	3	6	0	2	5	2	1	2	0	0	1	13
11	青　　山　　　充	／	3	1	2	0	1	0	0	0	1	3	0	0	2	0	16
12	新　保　　寛　人	X	11	3	5	1	4	0	0	4	0	1	0	0	2	0	21
13	佐　藤　　寛　人	／	5	1	4	1	2	0	0	1	0	0	2	0	1	0	20
14	岩　淵　　俊　紀	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
15	村　越　　俊　紀	／	4	0	0	2	6	0	2	1	1	0	0	0	0	0	5
コーチ	中　屋　　廣　昭									0	3	5	0				
出場：×は先発、／は出場			100	13	27	26	53	9	18	23	12	28	13	8	18	1	200
			確率	48.1%		49.1%		50.0%			計	40					

東海大学付属第四

番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	佐　藤　　文　哉	X	4	0	3	2	8	0	0	4	1	3	4	0	2	1	36
5	中　村　　享　輔		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	DNP
6	安　部　　秀　斗	X	12	0	1	4	7	4	4	5	0	4	2	1	0	0	14
7	増　田　　源　士	X	15	0	0	6	11	3	8	4	2	5	1	0	1	2	40
8	岩　本　　竜　育		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	DNP
9	澤　田　　大　樹	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
10	橋　本　　佳　介	／	8	2	8	1	3	0	0	0	0	1	4	0	0	0	28
11	四　十　物　　毅		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	DNP
12	村　井　　惠　太	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
13	絹　張　　龍　平		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	DNP
14	須　田　侑太郎	X	23	2	6	7	13	3	3	1	1	3	5	1	0	0	40
15	西　川　　貴　之	X	22	0	0	7	16	8	9	1	12	4	3	0	0	0	37
コーチ	佐々木　睦　己									0	0	0	0				
出場：×は先発、／は出場			84	4	18	27	58	18	24	15	16	22	19	3	3	3	200
			確率	22.2%		46.6%		75.0%			計	38					

2分毎による得点の推移



経過時間	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40		
県立新潟商業	0	8	15	18	24	26	31	36	36	43	51	58	64	70	76	84	86	86	88	97	100		
東海大学付属第四	0	10	17	20	22	26	31	31	37	37	42	44	47	50	54	59	63	67	73	76	84		

戦　評

　大会2回目第4試合は出場回数23回目の新潟商業と31回目の東海大第四の1戦となった。
第1P新潟商業はオールコートマンツーマンプレスで東海大第四にプレッシャーをかける。しかし慌てず＃6安部、＃14須田のドライブインで加点する。新潟商業も＃6山崎のドライブイン＃5近藤の3Pで応戦、点の取り合いになり26対26で終了。
第2P徐々に新潟商業のプレッシャーが効き始め、東海大第四がリズムをつかめない。新潟商業は＃12新保＃4槙坂の3Pが決まりリードする。しかし東海大第四も＃14須田がドライブイン、オフェンスリバウンドと頑張り追いすがる。残り2分新潟商業＃6山崎のドライブインと途中出場の＃10田村のポストプレイなどで51対42とリードして前半を終えた。
第3P新潟商業は厳しいオールコートマンツーマンプレスからボールを奪い＃12新保の3P＃6山崎のレイアップシュートで東海大第四を引き離す。残り6分20点差とされた東海大第四は＃14須田の3P＃15西川のリバウンドシュートで追いすがるが84対59と差を広げられ終了。
第4P東海大第四は1-1-2-1オールコートプレスを仕掛けミスを誘い＃6安部のドライブイン＃15西川のリバウンドシュートなどで追い上げ、新潟商業を5分間で2点に押さえ込み15点差まで詰め寄るが、新潟商業は慌てず＃12新保の3Pなどで追い上げる東海大第四を100対84で振り切った。

主審	小澤　勤	副審	緒方　崇	戦評	佐々木　信勝 (埼玉県高体連)

3P：スリーポイントシュート、2P：2ポイントシュート、FT：フリースロー、OF：オフェンス、DF：ディフェンス、TO：ターンオーバー、ST：スティール、AS：アシスト、BS：ブロックショット